

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	川の防災学習	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	高田支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

関川流域を襲ったH7.7.11水害から月日が経ち、地域の子どもたちは水害の恐ろしさを経験したことがないばかりか、地域住民の記憶も薄らいできている。一方、近年猛烈な雨が全国で頻発していることから、「川や水害時の行動などを学ぶ」「川に親しみ、川を常に気にかける」といった水害への備えが重要である。

本事業は、そうした問題意識のもと、地域の子どもたちが座学やフィールドワークを通して川の防災について学んでもらうものである。

2. 事業実施体制

主催:国土交通省高田河川国道事務所、上越教育大学
協力:(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業概要

■第1回

日時:令和5年10月4日(水)

場所:春日新田小学校

テーマ:災害・防災に関する基礎学習

(災害の種類、過去の水害、洪水が起こる理由、洪水を防ぐ方法等)

■第2回

日時:令和5年10月5日(木)

場所:春日新田小学校周辺

テーマ:水害時の危険箇所を学ぶ現地学習

(洪水時に危ない場所の確認、地元水害体験者のお話等)

■第3回

日時:令和5年10月18日(水)

場所:春日新田小学校

テーマ:学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習

(通学路や周辺の洪水時に危ない場所・避難場所を地図にまとめる等)

対象:上越市立春日新田小学校 4年生 62名

講師:山縣 耕太郎(上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授)

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

この取り組みは平成27年に始まり、小学校の定例行事として定着している。関川や姫川のことを知り、洪水などの災害や治水事業、日常であまり意識することのない水害時にとるべき行動などを学ぶことで、防災意識の向上が図られる。

また本事業は、関川・姫川大規模減災対策協議会において、教育委員会等と連携・協力した防災教育を充実させる取り組みとなっており、これを推進するため、協議会の対象流域にある全小中学校に対して情報提供を行っている。

本事業を実施するにあたり作成した「指導計画(案)」は、平成30年から改訂された小学校学習指導要領に反映されるなど、改訂にあたり重要な役割を果たすとともに、先進的な取り組みとなっている。



上段:第1回(基礎学習)、下段:左_第2回(現地学習) 右_第3回(自己学習)